

第43回四国中央紙まつり 『てんびん』の絵（書）募集要項



(昨年度 てんびん大賞 『憧れの南国』 あったか荘三島)

紙まつり実行委員会では、夏の風物詩となっている「てんびん」の絵（書）を募集しております。

「てんびん」とは、木枠に絵や書を貼り付けて行燈（あんどん）のように明かりを灯すもので、昔、お祭りになると集落ごとに吊される習慣があったことが起源になります。絵の書き手が次第に減ったことによりその習慣は薄れていき、戦後間もない頃、お伊勢さんで飾られていたのを最後に一旦は途絶えておりましたが、紙まつりにて紙のイベントとして復活し、現在に至ります。

【応募点数】 1人(1団体)につき1点まで

【参加費】 無料 ※ただし、製作にかかる経費等は自己負担。

【テーマ】 自由 ※ただし、公序良俗に反しない内容であること。裏面の注意点もご参照ください。

【画材】 絵の具・クレヨン・カラーペンなど。
・貼り絵も可。ただし夜間展示中点灯するため光を透過しないものは見えにくくなります。
・※審査は夜間に行います。
・作品は高所に展示するため、薄い色や小さい文字は見えにくくなります。

【申込期間】 令和2年4月1日(水)～令和2年4月24日(金)
※先着16作品まで受付。締切日前であっても申込枠が埋まり次第受付終了します。

【提出締切】 令和2年6月12日(金)
※参加申込時に配布する応募用紙を添えて、下記事務局までご提出ください。
※作品の左上余白部分に鉛筆にて「作品名」を書き込んでご提出ください。

【賞】 入選作品には、右の賞状・賞金があり、その他の参加者には参加賞を差し上げます。賞は審査会にて決定します。
なお、「てんびん大賞」「特選」受賞者は、8月1日(土)10:00～の紙まつり開会式にて表彰します。

	賞の名称	選定数	賞金・賞品 (1点につき)
入選	てんびん大賞	1点	3万円
	特選	1点	2万円
	準特選	2点	1万円
	参加賞	12点	かみえもん BOX1箱

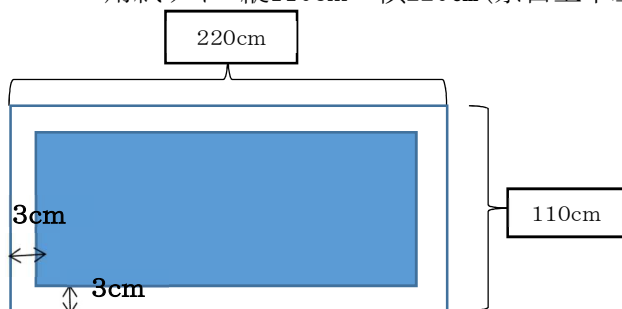
《 問い合わせ (提出) 先 》
四国中央紙まつり実行委員会 事務局 (四国中央市 経済部 産業支援課内)
〒799-0497 四国中央市三島宮川4丁目6番55号
TEL0896-28-6186 FAX 0896-28-6242

※裏面の注意点・審査基準をよく読んで製作してください。

【用紙】 市役所 産業支援課(庁舎棟3階)で用紙を用意しております(1団体2枚まで)

※用紙提供: 淳製紙

用紙サイズ縦110cm×横220cm(余白上下左右3cmずつ含む)。



※余白(折白)を示した鉛筆の線の内側に収まるようにご製作下さい。
※使用する面はお好みで表でも裏でも構いませんが、用紙の向きは横向きとします。

【注意点】 ※下記の〈審査のポイント〉もご確認ください。

- ①作品の中に作者名や、作者が分かる内容を入れないこと。
 - ・公平を期すため、作品名の札のみを掲示して審査を行います。審査後に作者名の札を付けます。
- ②営利目的だと解釈される内容を書かないこと。
 - ・企業の宣伝になるような文言や名称、キャラクター等の掲載は禁止します。
- ③オリジナルの図案に限ること。
 - ・既存のキャラクター等の模写の場合、必ず著作権者に許可を得ること。
 - ※著作権・肖像権に関するトラブルについて当実行委員会では責任を負いません。
- ④作品の強度に注意して製作すること。
 - ・作品は木枠に貼り付けた上で吊り下げて展示します。用紙に穴を開けたり、重いものを貼り付けたりすると作品の破れやゆがみが発生し、展示できない場合がありますのでご注意ください。
 - ・貼り絵にする場合は、貼ったものが落ちないように、また、のりがはみ出さないように貼り付けてください。(保管時に重ねるため、作品同士が貼りつく原因になります。)
- ⑤審査結果に関わらず、作品(または作品を撮影した画像)、作品名、作者名が公表されます。
 - ・作品は7月中旬～8月中旬(天候により変更あり)川之江地区商店街アーケード下に展示予定です。
 - ・紙まつりホームページへ掲載されます。
 - ・その他、紙まつりの広報等で使用される場合があります。
- ⑥てんびんの絵は、展示期間終了後も原則返却いたしません。

【審査】

審査は、作品を商店街アーケード下に吊り下げ、夜間に点灯した状態で行います。

〈審査のポイント〉

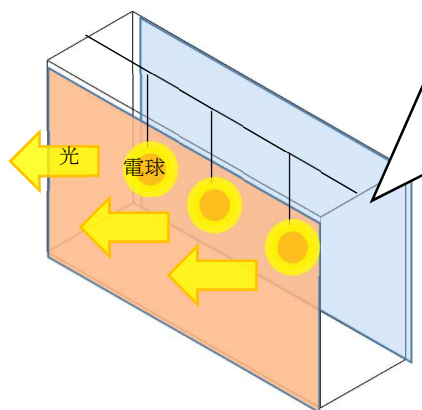
1. 独創性のある魅力的な図柄であるか。
2. 色彩・表現力は優れているか。
3. てんびんの絵(書)にふさわしく、明かりを灯したときの光の透過性が考慮されているか。

作品展示の状態



商店街のアーケード下に
吊り下げて展示します。
高い所に展示するため、
小さい文字や薄い色は
見えにくくなります。

夜間点灯時の状態



応募いただいた作品を
行燈の木枠の両面に貼り
付け、枠の内側から電球
で照らします。
作品が光に透けるよう
に製作すると、点灯したと
きにきれいに見えます。
**※審査は明かりを灯した
状態で行います。**



夜間はこのような
雰囲気になります。